

# 戦後70年・平和について

戦争のない平和な国が一番です

皆さんは戦争についてどのような考えをお持ちですか？

第二次世界大戦においては多くの犠牲者を出し、悲惨な結果となったのは誰もが知ることだと思えます。その後、日本は70年間戦争をすることなく平和国としてのブランドを築き上げてきました。このことは日本が間違いなく世界に対して誇れることだと思います。

ところが現在、政府は日本を「戦争する国」にするための政策を進めています。国益のためには戦争も必要であるとの考えです。しかし、戦争は多くの人が死ぬことです。たとえ生きて帰ることができたとしても、街は消失し、戦争によるトラウマを一生かかえて生きていかなければなりません。これが「国益」につながるのでしょうか？戦争になると、私たちも家族も戦地に駆り出され、もはや仕事どころではなくなります。これまで築き上げた家庭、友人関係、職場での人間関係等が理不尽に奪い去られてしまいます。

戦争では何も解決しません。このことは政治への関心の有無にかかわらず国民一人一人が考えていくべき課題だと思えます。

平和について学習しましょう

私たち国労九州は、昨年の10月に西日本の青年部と合同で、長崎にて平和学習を行いました。

日本は世界唯一の原爆被投下国であり、被害者としての認識が強いのですが、逆に加害者としての側面も持ち合わせていることを学びました。戦争をきっかけとする国際問題は、その後ずっと続きます。戦争で多くの犠牲者を出すよりも、国際的に協調していくことが世界各国の発展には不可欠なのではないでしょうか？

日本全体がおかしな方向に流れていかないように、私達も流されないように、平和について学習しましょう。

お勧めの映画

「さとうきび畑の唄」  
戦争の悲惨さと、それに負けずに生きていく家族を描いた映画です！



戦争についてみんなで考えましょう！



若い力

第 30 号

2015年 8月1日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515